



おにぎり食べて元気だそう

園児ら歌で呼び掛け

「忘れちゃいけない
語り継ごう ちからを
合わそう仲間だろ お
にぎり食べて元気だそ
う 十七日はおにぎり
デー」

毎月十七日を、おに
ぎりを食べて防災意識
を高める「防災おにぎ
りデー」とする取り組
みを進める草津市民ら
の団体「防災おにぎり

おにぎりデーのテーマソ
ングを歌う園児ら。おに
ぎりを手で形作るなど、
振り付けも披露された

委員会」が、十七日の
コンサートで自作のテ
ーマソングを披露し
た。

委員会のメンバーの
ほか、市職員や幼稚園
児も参加して息の合っ
た振り付けも披露。観
衆からも手拍子が湧い
た。

代表の堀江尚子さん
(四四)は、昨年四月に大
きな地震があった熊本
市出身で、両親が被災
した。「おにぎりを食
べるだけで、ここまで
活動が広がった」と手

応えを感じ「日常の中
にある防災として、子
育てサークルなどで広
めていきたい」と話し
ていた。

慢心過信なく
対策に生かす

知事

三日月大造知事は、
十七日の定例会見で、
阪神大震災の発生から
二十二年を迎えたのを
踏まえ「長年地震が起
こらないと、慢心、過
信を生んでしまう。歴
史をひもといいてこれま
でに発生したさまざま
な地震を、滋賀の防災
対策に生かすことが重
要だ」と述べた。